

## 8月1日・2日、科学技術館にて 夢・化学-21「夏休み子ども化学実験ショー-2015」を開催

「夢・化学-21」委員会\*は、次世代を担う子どもたちとその保護者に、化学の面白さや不思議さ、化学産業の社会への貢献などについて知っていただくために毎年「夏休み子ども化学実験ショー」を開催しています。今年は8月1日(土)～2日(日)に科学技術館にて開催しました。猛暑にもかかわらず、来場者数は2日間合計で約6,700名、会場は化学を楽しむ親子連れで終日熱気につつまれました。

21回目を迎える今回は、化学メーカーや団体(化学会・大学)による「実験教室」17種類、ステージイベント2種類の計19種類のプログラムを用意しました。



### 【企業・団体ならではの趣向を凝らした実験教室】

「実験教室」では、各企業・団体が、それぞれ工夫を凝らした説明や実験を用意。自分の手で実際に実験を行ってもらうことで、子どもたちに日常使っているものに化学の力がどのように使われているかを学んでもら



いました。実験の成果物をお土産として持ち帰ることができる教室も多く、みんな満足した顔で次の実験教室に向かって行きました。

### 【驚きいっぱい、歓声いっぱいのステージイベント】

「なぜなに化学クイズショー」では、“穴の開いた缶コーヒーを入れた容器から空気を抜くとどうなる?”、“ドライアイスサラダ油の中に入れたらどうなる?”といった暮らしのなかで手に入るものを使った化学のクイズに挑戦してもらいました。解答として実演すると、正解した歓喜の声や、目の前で起きた化学現象への感嘆の声が会場中に広がりました。全問正解者には認定証が配られ、子どもたちは誇らしげに持ち帰っていました。



サイエンス演芸師として、メディア等でもひっぱりだこの、善ちゃんによる「笑ってためになる化学実験ショー」では、濁った水が透明な水や赤や青の色がついた水に変化したり、ゴム風船をラベル剥がしスプレーで割ったりと、摩訶不思議な現象を目の当たりにし、驚きと笑い歓声でいっぱいのステージとなりました。終了後には、善ちゃんには記念撮影の列ができ、ここでもひっぱりだこでした。



### 【伝統行事となった夏休み子ども化学実験ショー】

参加した企業の複数のスタッフが、小学生のころ、この実験ショーに参加したことをきっかけに、なんとその企業に就職し、今回は化学のおもしろさを伝える立場になっています。今後もこのような方々が増え、子どもたちに化学に興味を持ってもらうチカラが強くなっていくことを願っています。

\*「夢・化学-21」委員会: 化学の啓発と化学産業の社会への貢献の理解促進を目的に、1993年に設立。公益社団法人日本化学会、公益社団法人化学工学会、公益社団法人新化学技術推進協会、一般社団法人日本化学工業協会の4団体によって組織されている。